

対話鑑賞
(県立博物館)

アートを通じた学び「コレクション宅配便」!!
~令和7年度より県内全ての小学4年生が県立美術館を訪れ、
鑑賞するバス招待事業(MUSEUM START BUS)が始まります!



令和6年5月24日(金)、鳥取市立日進小学校において、鳥取県立博物館主催による「作品をよく見て話す鑑賞! in 日進小学校」が行われました。6年生の図画工作科の学習に関連して、“本物の作品”との出会いを通して「表現の奥深さや楽しさを実感させたい」という教員の願いも大切にされた鑑賞活動の取組です。今号外では、対話鑑賞に取り組む子どもたちの様子について紹介します。

鳥取市立日進小学校 第6学年 28名

オリエンテーション

【授業の流れ】

1. オリエンテーション
2. グループ鑑賞
(2つのブース、途中で交代)
3. 自由に鑑賞
4. まとめ



まずはよく見ること。
そして、気づきや、感じた
ことを大事にしてね。



<鑑賞のポイントを説明>

- ・作品をよく見て感じたことを言葉にする
- ・友達の感じたことをしっかり聞く
- ・作品を見て感じたことは何を伝えてもよい
- ・無理に発表しなくてもよい

グループ鑑賞

- T: どのあたりから?
C: ここに舌と歯があるみたい。
T: どんな目?
C: どんよりしている。
T: どんより感はどこから?
C: 視線が下向きになっている。

C: 絵を横にして見てみたい。
T: では横にしてみるね。
(絵を横向きに変える)
C: 印象が変わった。
C: 川みたい。



ここ、ここっ!

- ・どこからわかる?
- ・どのあたり?
- ・どこで感じた?
- ・どこからそう思ったの?

ファシリテーターとして児童と
やりとりしながら、確認をしたり、
言葉に置き換えたりして、児童
の思いを引き出していく。

- T: 何か気づいたことある?
C: 猫がいる。ここに。
C: 自転車がある
T: よく見つけたね。
C: 人もいる。
T: どんな人?
C: 浴衣を着ている人。

C: 秋みたい。
T: どこからそう思った?
C: 紅葉している。
C: 草が茶色。

感じたことを伝え合い、それらを互いに受け入れていくうちに、少しずつ安心した雰囲気になっていきました。

自由鑑賞

- ・私は〇〇だと思う。
- ・なるほど、私は△△だと思った。
- ・確かに。そうも見えるね。



- ・ここ、●●に見えない?
- ・あっ、本当だ。△△にも見えてきた。
- ・僕には、〇〇にも見えてきた。
- ・おもしろいな。

指を指しながら自分の思いを伝え合う児童。作品名に注目する児童。絵画と同じポーズを真似してみる児童。首を横にして見る児童……。児童が主体的に鑑賞する姿が見られました。

作品から感じたことを他者に伝えることは、自分の心を開放することに繋がり、それを周りの人にしっかりと受け入れてもらえるからこそ、主体性を持ち温かい雰囲気の中で安心して学習することができます。今回、そんな児童の様子を間近で見ることができました。県内で朝鑑賞を取り入れている学校もあり、児童生徒の表現力や学力が向上してきたという事例もあります。対話鑑賞は、鳥取県が目標としている「自分の考えを持ち、工夫して表現する子どもの育成」にもつながります。今後、各学校において、本物の作品に触れての対話鑑賞を通して、互いに笑顔で思いを伝え合う、そんな児童生徒の姿が多く見られることを願っています。